

道東自動車道 下トマム地区下部工工事

割掛対象表参考内訳書

- ・割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- ・割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受付けない。

令和8年5月

東日本高速道路株式会社 北海道支社
帯広工事事務所

割掛対象表参考内訳書 1 / 4

【共通仮設費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 機 械 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） A	仮設構造物工（鋼矢板等土留工）で使用する建設機械（硬質地盤クリア圧入機）の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 硬質地盤クリア圧入機：1 台－2 往復 ○現場内移動 硬質地盤クリア圧入機：1 回	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ） A	土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地からの運搬【運搬距離：約 135km（片道）】 湿地ブルドーザ 20t：1 台－3 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） A	仮設構造物工（鋼矢板等土留工）で使用する重建設機械（クローラークレーン 50～55 t 級）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 クローラークレーン 50～55 t 級：1 台－9 往復 ○現場内移動 クローラークレーン 50～55 t 級：3 回	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） B	仮設構造物工（鋼矢板等土留工）で使用する重建設機械（クローラークレーン 200 t 級）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台－1 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） C	構造物掘削で使用する重建設機械（ドラグライン・クラムシェル 0.6 m ³ 機械式）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 ドラグライン・クラムシェル 0.6 m ³ ：1 台－3 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ） D	構造物掘削で使用する重建設機械（クラムシェル 0.6 m ³ 機械式）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 クラムシェル 0.6 m ³ ：1 台－2 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 基 礎 工 ） A	場所打ち杭工で使用する重建設機械（オールケーシング掘削機 φ1,500）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 オールケーシング掘削機 削孔径 1,500 mm：1 台－2 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 基 礎 工 ） B	場所打ち杭工で使用する重建設機械（油圧クラムシェル テレスコピック 0.4 m ³ ）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 油圧クラムシェル テレスコピック 0.4 m ³ ：1 台－1 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 基 礎 工 ） C	場所打ち杭工で使用する重建設機械（クローラークレーン 60～65 t 級）の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 クローラークレーン 60～65 t 級：1 台－2 往復	—

割掛対象表参考内訳書 2 / 4

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）A 1	構造物掘削特殊部 A 1 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 構造物掘削特殊部 A 1 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）A 2	構造物掘削特殊部 A 2 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 【運搬距離－約 230 km（片道）、海上】 構造物掘削特殊部 A 2 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）A 3	構造物掘削特殊部 A 3 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 構造物掘削特殊部 A 3 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）B 1	構造物掘削特殊部 B 1 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 構造物掘削特殊部 B 1 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）C 1	構造物掘削特殊部 C 1 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 構造物掘削特殊部 C 1 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）D 1	構造物掘削特殊部 D 1 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 構造物掘削特殊部 D 1 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）D 2	構造物掘削特殊部 D 2 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 構造物掘削特殊部 D 2 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）D 3	構造物掘削特殊部 D 3 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 構造物掘削特殊部 D 3 で使用する仮設材の運搬費	○
仮設材等運搬費 （鋼矢板・H形鋼等土留工）D 4	構造物掘削特殊部 D 4 で使用する仮設材（H形鋼、鋼矢板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離－約 135km（片道）】 構造物掘削特殊部 D 4 で使用する仮設材の運搬費	○
地質調査等費 （平板載荷試験）	平板載荷試験に要する費用をいう。	【平板載荷試験】 12 箇所	—
アンカー工の多サイクル確認試験費	のり面アンカーの多サイクル確認試験に要する費用をいう。	【多サイクル確認試験】 6 本	—
火薬庫費	火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用をいう。	火工所 ：1.8 ヶ月	—
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	【コンクリート非破壊試験】 橋梁下部工－側面：212 箇所	—
配合試験費	地盤改良工の室内配合試験に要する費用をいう。	【室内配合試験】 下トマム鵜川橋 A 1 橋台付近：3 回 A 2 橋台付近：1 回	—

【準備工事費】

割掛対象表参考内訳書 3 / 4

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用道路維持補修費	工事用道路（本線内工事用道路を除く）の維持（散水）に要する費用をいう。	【散水車5,500L】 16.8ヶ月（冬季休止期間除く） トママ跨線橋工事用道路、一線沢川橋工事用道路、	—
工事車両泥落し費	工事車両泥落しに要する費用をいう。	軽作業員の配置：239人・日 （高圧洗浄機等含む）	—
作業ヤード整備費	橋梁下部工等の施工に必要な作業ヤードを整備し、施工完了後に再び原型に復旧するのに要する費用をいう。	下トママ橋A1橋台 造成1513m ³ 、撤去233m ³ 下トママ橋P1橋脚 造成747m ³ 、撤去532m ³ 下トママ橋A2橋台 造成115m ³ 、撤去15m ³ ※盛土材は一線沢仮置場の土砂 ※撤去土砂は、一線沢仮置場に敷均し	○
工 事 用 進 入 路 設 置 撤 去 費	橋梁下部工の施工箇所への進入路を設け、施工完了後に再び原型に復旧するのに要する費用をいう。	滝の沢川橋P1橋脚部 延長 約37m 盛土248m ³ 、大型土のう190袋、路盤112m ² 滝の沢川橋P2橋脚部 延長 約19m 盛土60m ³ 、路盤76m ² 滝の沢川橋P3橋脚部 延長 約19m 盛土28m ³ 、路盤76m ² トママ跨線橋P1橋脚部 延長 約32m 路盤128m ² トママ跨線橋P3橋脚部 延長 約8m 路盤128m ² 下トママ鷺川橋A1橋台部 延長 約433m 路盤1,732m ² 、敷鉄板36m ² （リース：19ヶ月） 下トママ鷺川橋A2橋台部 延長 約42m 路盤168m ² 、敷鉄板18m ² （リース：25ヶ月） ※盛土材は一線沢仮置場の土砂 ※土のう製作は一線沢仮置場の発生土で製作 ※撤去土、碎石及び土の中詰め土は、一線沢仮置場に敷均し	○
仮 締 切 工 費	橋梁下部工の施工に必要な仮締切に要する費用をいう。	トママ跨線橋P1橋脚 大型土のう（耐候性3年対応品） 製作・設置・撤去・仮置き（現場内）：1,199袋 設置・撤去：1,199袋 一線沢川橋A2橋台 大型土のう（耐候性1年対応品） 製作・設置・撤去：145袋 下トママ鷺川橋A1橋台 大型土のう（耐候性1年対応品） 製作・設置・撤去：295袋 大型土のう（耐候性3年対応品） 製作・設置・撤去・仮置き（現場内）：165袋 下トママ鷺川橋A2橋台 大型土のう（耐候性3年対応品） 運搬・設置・撤去：165袋 ※盛土材は一線沢仮置場の土砂 ※土のう製作は一線沢仮置場の発生土で製作 ※撤去後詰め土は、一線沢仮置場に敷均し	○

【仮設備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足 場 工 費	橋梁下部工等の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 橋台、橋脚、擁壁：13,548空m ³ 深礎ぐい：489空m ³	—

割掛対象表参考内訳書 4 / 4

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
支 保 工 費	コンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるため、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	【くさび結合支保工】 載荷荷重 0.0～2.0 t / m ³ 未満：115.1 空m ³ 、 存置日数：106 日 載荷荷重 2.0～4.0 t / m ³ 未満：69.5 空m ³ 、 存置日数：53 日 載荷荷重 4.0～6.0 t / m ³ 未満：839.1 空m ³ 、 存置日数：318 日 載荷荷重 20.9 t / m ³ 未満：1.7 空m ³ 、 存置日数：53 日	—

【雑工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
の り 面 仕 上 げ 費	共通仕様書 2－6－5（8）及び 2－7－5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	【のり面仕上げ】 盛土（1：1.8）：2,188 m ³	—
水 路 の 迂 回 費	工事の施工に伴って、支障となる水路等を迂回する仮設物に要する費用をいう。	一線沢川橋 A 1 橋台 ポリエチレン角型 U 字側溝 U300：14m 下トマム橋 A 1 橋台 高密度ポリエチレン管 φ300：6m 下トマム橋 P 1 橋脚 高密度ポリエチレン管 φ300：37m ポリエチレン角型 U 字側溝 U300：39m 仮設集水ます Ds-0.50・0.50・0.50：1 箇所 （設置・撤去・処分含む）数量約 0.5t など	○
火 薬 取 扱 い 費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間 掘削期間：1.8 ヶ月	—
構 造 物 水 抜 穴 費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	【VPφ75】 一線沢川橋 A 1、A 2 橋台：26.4m 下トマム橋 A 1、A 2 橋台：19.8m 下トマム鵜川橋 A 1、A 2 橋台：21.3m 【VPφ50】 一線沢川橋 A 1 側擁壁：8.0m 下トマム橋 A 1、A 2 側擁壁：33.2m	○
目 地 材 費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	【目地材 t = 2 cm】 一線沢川橋：14.3 m ² 下トマム橋：120.3 m ²	○
く い 頭 処 理 費	場所打ちぐいのくい頭はつりに要する費用をいう。	【くい頭処理 φ1,500】 一線沢川橋 A 2 橋台：12 本 下トマム橋 A 1 橋台、A 1 側 U 型擁壁：28 本 （処分含む）数量約 240t	—
支 承 ア ン カ ー ボ ル ト 箱 抜 費	橋梁下部工工事において、上部工施工時の支承、アンカーバーを設置するための、箱抜に要する費用をいう。	【支承アンカーボルト箱抜】（スパイラルシース） トマム跨線橋 P 1、P 2 橋脚：φ200 4 箇所 トマム跨線橋 P 3 橋脚：φ175 2 箇所 一線沢川橋 A 1 橋台：φ250 2 箇所 一線沢川橋 A 2 橋台：φ200 2 箇所 下トマム橋 A 1 橋台、P 1 橋脚、A 2 橋台：φ175 6 箇所 下トマム鵜川橋 A1 橋台：φ350 2 箇所 下トマム鵜川橋 A2 橋台：φ250 2 箇所	○

割掛対象表参考内訳書 5 / 4

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
場 所 打 ち ぐ い（人力掘削） 根 固 め コ ン ク リ ー ト 費	ライナープレートの自重による沈下防止及び雨水の進入防止のために行う根固めコンクリートに要する費用をいう。	【根固めコンクリート費】 滝の沢川橋P 1 橋脚 コンクリートC2-1：19.6 m ³ 鉄筋：1.26 t 一線沢川橋A 1 橋台 コンクリートD1-1：10.8 m ³	○
作 業 環 境 養 生 費	冬期間施工するコンクリート構造物施工時に必要な保温養生設備等に要する費用をいう。	【養生囲い・暖房設備一式】 寒中コンクリート養生期間：11 月上旬～4 月上旬 （日平均 4℃以下）の平均外気温-4.4℃、昼間の外気温 1.2℃ 加熱気積：トマム跨線橋 1,126 空m ³ ：下トマム鵜川橋 6,683 空m ³ 加熱温度：作業中 5℃、打設後 5℃（4 日間）0℃（2 日間）	—